

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次



重文「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary
Ichinomiya



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話<0586>24-1931 ☎491-0858



世界に希望を生み出そう

URL: <http://rc138.org> E-Mail: rc138@lily.ocn.ne.jp

2023年8月24日 第3560回例会

会長 足立 誠 会長エレクト 佐々木久直
幹事 富田 隆裕 副幹事 鶴飼 雅弘
副会長 山上 哲司 会報委員長 野村 和弘

プログラム

インターアクトクラブ海外研修報告
修文学院高等学校 IAC
会長 太田 美月さん
副会長 松岡みなみさん

ロータリーソング「それでこそロータリー」

第3559回例会の記録
2023年8月10日(木)

会長挨拶 足立 誠
本例会は、旧盆直前の例会ですので「お盆」に因んだお話をさせていただきます。

仏教や「お盆」に関心のある方々はすでにご存じだと思いますが、『仏説盂蘭盆経』に以下のようなお話が説かれています。

お釈迦様の高名な弟子に十大弟子がおられ、そのうちのお一人が目連(大目乾連)尊者でした。彼は自らの亡くなった母を慕い、自らの「神通力」をもってこの世界以外に自らの母の姿を追い求めました。するとこともあろうに、母は餓鬼道に落ちて、食べる物・飲む物を得られず飢えや渇きに苛まれていました。驚いた目連は自らの「力」で苦しんでいる母の眼前に食物を差し出しましたが、母が食物を手にとると炭火のように熱し、食べられません。このことに二度驚いた目連は、お釈迦様にどうしたものかと尋ねられました。お釈迦様は、自らの行い(「業」)によって、母親の存在(「果」)があるのである。よって直接救済することはできないとおっしゃられました(「自業自得」・「因果応報」)。

では目連尊者のできることはと言えば、この世界で飢えている人々に施しをすること(「施餓鬼」)でありました。さらにはこの功德が廻向されて、結果的に餓鬼道に落ちた母を救済することができたということです。

次回の予定
卓話
前田 泰道氏
(紀三井寺 貫主)

世の中には様々な施し(「布施」)がありますが、私たちの生活も何重にも重なり合った布施の輪の中で、成り立っているのかもしれない。

委員会報告 ニコボックス

梅谷朋志

☆ 永井伸司君(稲沢RC会長)

稲沢ロータリークラブ創立60周年記念式典並びに祝賀会に足立会長、富田幹事、則竹ガバナー補佐、桑原分区幹事にご出席頂きありがとうございます。



☆ 則竹伸也君 桑原英寿君

稲沢RC60周年記念式典祝賀会、稲沢RCガバナー補佐訪問で永井会長、金森幹事にお世話になりありがとうございました。今日は例会に参加頂きありがとうございます。引き続き宜しくお願いします。

☆ 豊島半七君

本日より新会員として十六銀行田口誠支店長をお迎えした喜びで。

☆ 田口 誠君

歴史と伝統ある一宮ロータリークラブに入会させて頂きありがとうございます。皆様方のご指導よろしくお願い致します。

☆ 川口敏男君

本日はイニシエーションスピーチを務めさせて頂きます、よろしくお願い致します。

☆ 西岡信幸君

本日皆様の前でイニシエーションスピーチをさせて頂く喜びで。宜しくお願い致します。

☆ 関戸 徹君

去る8月8日長女の絵美に男の子が生まれました。初めての外孫で4020gの大男でした。

☆ 梯 國彦君 鈴木洋志君 梅谷朋志君
8/1～9日間、ゴルフ発祥の地セントアンドリュースオールドコースにてラウンドしてきました。甲子園のマウンドで投げているかのような夢の時間でした。一生の思い出になった喜びで。

☆ 足立 誠君 富田隆裕君
株十六銀行一宮支店長兼尾張ブロック長・田口誠さんを新入会員としてお迎えする事と稲沢RC永井会長、金森幹事、宮崎青少年奉仕委員長、真野広報会報委員長をお迎えした喜びで。

出席報告

ビジター出席数	4名
現在の会員数	111名
本日の出席数	71名
前々回の出席率	100%

***** プログラム *****

イニシエーションスピーチ

西岡 信幸君

テーマ「自己紹介」



一宮市多加木で空調設備工事業を営んでおります東洋空調株式会社の西岡でございます。歴史と伝統のある一宮ロータリークラブの一員として迎え入れていただきありがとうございます。私は一宮生まれ一宮育ちで数年間は仕事で愛知を離れましたがこの一宮の地で育ち生活をし、仕事をさせていただいております。

自分で言うのもなんですが、幼少期から特に目立った特徴もなくごくごく平凡な人生を歩んでおりました。本来ならばこの場でお話しさせていただくような人間ではないかもしれませんが、私をこの場へ導いてくださったのは青年会議所に入会させていただき、先輩方に理事長職をはじめとする成長する機会を与えていただいたこと。そして皆様には日ごろより大変お世話になっております父親がつかないでくれたご縁があってこの場に立たせていただいております。

私の父親は鹿児島県指宿市の出身で指宿市は本州(九州最南端)の生まれです、そこから一宮に上京し、商売をさせていただいていること自体が奇跡のようなご縁だと感謝しております。

学生時代はスラムダンクブームに乗ってバスケットに明け暮れ大学時代にはバンドを組んでいました。熱中するものに出会えたことで道を外れることもなく学生時代を過ごさせていただきました。その後、ご縁で家業の修行で大阪へ行くこととなり、そこから人生が動き始めました。修行先はダイキン工業で、30歳手前で自社に戻り、同時に現在代表をつとめております東洋ベースへ入社しました。そこでも目まぐるしい日々の中で試行錯誤をしながら今に至ります。

こんな平凡で何もなかった私ですが皆様にお力をいただき今日を迎えております。自分が今まで先輩方にさせていただいたことを今度は自分がこの地域で暮らす人々のために還元できるようこの

歴史と伝統のあるロータリークラブで学ばせていただき精進してまいります。繰り返しとなりますが皆様にはご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

川口 敏男君
テーマ「自己紹介」



私は、昭和33年12月、一宮市生まれの成年です。生まれてから学生時代、社会人を通して一宮から一度も出たことはありません。

地元の聖光幼稚園、大志小学校と進んで、一宮南部中学校では陸上競技に打ち込み、2年の時に市大会 2,000 円で優勝しました。

一宮西高校では、2年の春のインターハイ尾張地区で、1,500 円と 5,000 円の二冠を達成できたことがよい思い出です。そして愛知大学を卒業後、昭和56年に一宮信用金庫に入庫し平成15年7月7日に一宮信用金庫と愛北信用金庫と津島信用金庫の三金庫が合併しました。

平成17年に初支店長となり、金庫生活42年で通算23回の異動を経て令和4年6月に理事長に就任しました。今は、「何でも相談していただける金融機関を目指して」頑張っております。いちい信用金庫の経営理念は「地域貢献度」「顧客満足度」「健全経営」「人材の豊かさ」それぞれのナンバーワンを目指すことです。

令和5年6月末現在で、資金量は1兆1,246億円、貸出金は4,368億円、従業員498名、店舗数48店舗、自己資本比率11.43%となっております。日本一預貯金の多い金融機関はゆうちょ銀行で資金量19兆円ですが、当金庫は全国の金融機関543の中で154番目の資金量となります。

当金庫は地域金融機関として、多くの地域貢献活動を行っております。例えば、お取引先800社を調査対象とした「景況レポートの発行」、販路拡大のお手伝いとして「いちいお菓子フェア」の開催、当金庫独自のビジネスマッチングサイト「いちいWebマルシェ」の開設、環境保全の観点から「ホテルの庭」の造園・鑑賞会の実施、金融リテラシーの観点から「金融スクール」の開催、奨学金を無償で貸与する「公益財団法人いっしん育英会」の運営など様々な活動を行っておりますので、ご利用いただければ幸いです。

今後ともご指導ご鞭撻宜しく願いたします。



田口 誠君入会式